

ひまわり CFD

- チャートガイド -

目次

< ストリーミングチャート編 >

1 < ストリーミングチャート > 編 はじめにP2
2 メインチャートウィンドウP2
3 チャートP3
4 チャートオプションP4
4.1. ビッド/オファーの切替P4
4.2. 表示期間P4
4.3. 表示間隔P4
5 描画ツールP5
5.1. 描画ツールの追加P5
5.2. 描画ツールの編集/削除P6
5.2.1. 編集/削除アイコンP6
5.2.2. 右クリックでの編集P7
6 チャートスタイルP7
7 スタディP9
7.1. スタディの表示/追加P9
7.2. スタディの編集/削除P11
8 オシレーターP12
8.1. オシレーターの表示/追加P12
8.2. オシレーターの編集/削除P13
9 設定P13

< パターン分析機能編 >

1 < パターン分析機能 > 編 はじめにP15
2 「パターン分析機能」操作方法P16
2.1. 「パターン分析機能」画面の表示P16
2.2. 「検索設定」画面P17
2.3. 「形成中パターン画面」と「完成済パターン画面」 P20
2.4. パターンの表示P21
2.5. プライス・プロジェクション・エリアP22
2.6. アラートタグP22
3. 「ローソク足パターン」と「チャートパターン」の表示P23
3.1. パターンの表示方法P23
3.2. パターンの編集/削除方法P24
3.3. 詳細情報の表示P24
4. パターン分析についてP25
4.1. 用語P25
4.2. チャートパターンP26

1. <ストリーミングチャート編> はじめに

ひまわり CFD の取引システム(ひまわり CFD WEB)をご利用いただき、誠にありがとうございます。

ひまわり CFD WEB では、価格の閲覧のみ可能な「シンプルチャート」と、多数の分析機能を搭載した「ストリーミングチャート」の2種類のチャートをご用意しております。

当ガイドでは、「ストリーミングチャート」の操作方法についてご案内いたします。

パターン分析の操作方法につきましては、P15 以降をご覧ください。

2.メインチャートウィンドウ

「銘柄カタログ」や「ウォッチリスト」などから銘柄名をクリックし、表示されたメニューから[ストリーミングチャート]を選択すると、チャートを表示させることができます。



チャート (P3)

チャートオプション (P4)

描画ツール (P5)

チャートスタイル (P7)

スタディ (P9)

オシレーター (P12)

設定 (P13)

3.チャート

チャートは設定を変えることによって表示期間や表示スタイルを変更することができます。また、ラインを引いたり(P5)テクニカル分析指標を表示させる(P9)こともできます。詳細は各ページをご覧ください。




チャートの設定や、表示させた分析指標などを保存することはできません。



<チャートの移動・ズームについて>

チャート内でドラッグしていただくと、チャートの移動ができます。

また、チャート下部にあるアイコン(赤枠)をクリックすると、チャートを拡大、縮小できます。

-  ズームイン…クリックすると、チャートを拡大できます。
-  ズームアウト…「ズームイン」で拡大したチャートを縮小します。
-  リセット…拡大・縮小したチャートを元の状態に戻します。

マウスのスクロール機能でも、同様にチャートの拡大・縮小ができます。

チャート下部の時刻部分を左右にドラッグしても、同様にチャートの拡大・縮小ができます。

4.チャートオプション

チャートオプション(赤枠)では、価格の期間、間隔、ビット・オファー表示の設定を行うことができます。



4.1.ビット/オファーの切替

チャートに表示されている価格を、ビット価格、オファー価格、中値価格 (Mid) の3つから選択できます。

初期設定ではビット価格が表示されます。



4.2.表示期間

チャートの表示期間を、1日から30年の間で選択できます。

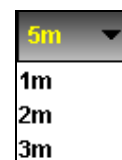


4.3.表示間隔

チャートの表示間隔(足の変更)を、1分足から週足の間で選択できます。

表示間隔の組み合わせにより、表示できないものもあります。

例:5年チャートの最小表示は日足になります。



5. 描画ツール

描画ツール(赤枠)を使うと、チャート上にトレンドラインやテキストラベルを追加したり、オブジェクトの編集や修正などのカスタマイズができます。



5.1. 描画ツールの追加

描画ツールをチャート上に追加する場合は、描画ツールアイコン(赤枠)をクリックします。描画ツール一覧が表示されますので、表示させたいものを選択してください。そのまま、チャート上で表示させたい場所をクリックすれば、描画ツールを表示させることができます。

描画ツールは、チャート上に複数表示させることができます。

また、同じ描画ツールを連続してチャート上に表示させる場合は描画ツールを選択した後、固定アイコン(青枠)をクリックしてください。選択した描画ツールが固定され、連続して表示させることができます。



固定アイコン(青枠)をもう一度クリックすると、固定した描画ツールが解除されます。描画ツールが固定されている間は、下の図のようにオレンジ色で表示されます。



固定されていない状態



固定されている状態

5.2. 描画ツールの編集/削除

チャート上に表示させた描画ツールは、下記方法により編集/削除することができます。

編集/削除アイコンを使用

編集したい描画ツール上で右クリック



5.2.1. 編集/削除アイコン

編集/削除アイコンでは、描画ツールの編集や削除を行えます。

< 編集 >

[編集]を選択するとマウスポインターの形が「ドライバー」に変わります。

編集したい描画ツール上でクリックすると詳細設定画面が表示されますので、色や表示の設定を行うことができます。

< 削除 >

[削除]を選択するとマウスポインターの形が「×」に変わります。

削除したい描画ツール上でクリックすると、描画ツールが削除されます。

[全て削除]を選択すると、表示されている描画ツールが全て削除されます。



5.2.2. 右クリックでの編集

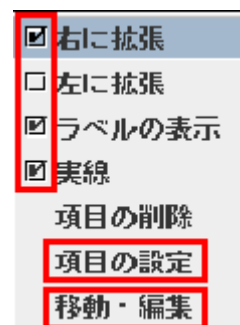
編集したい描画ツール上で右クリックすると、右下のような画面が表示されます。

< 編集 >

チェックボックス(赤枠)をクリックして、ラインの設定などを行うことができます。

[項目の設定](赤枠)を選択すると、詳細設定画面が表示されますので、色や表示の設定を行うことができます。

[移動・編集](赤枠)をクリックし、描画ツールをドラッグすると、描画ツールを移動させることができます。



< 削除 >

[項目の削除]を選択するとマウスポインターの形が「x」に変わります。

削除したい描画ツールの上でクリックすると、描画ツールが削除されます。

6.チャートスタイル

スタイルメニュー(赤枠)をクリックすると、チャートスタイルを 12 種類の中から選択することができます。

チャートの種類によっては、始値、終値、高値、安値など表示されるデータの編集が可能です。



< 12 種類のチャートスタイル >

ライン

終値が線形で表示され、商品価格の上下を容易に把握できます。

バー

高値と安値を結ぶ足に終値が横バーで付属します。欧米で広く使われているチャートです。

ローソク

ローソク足はバーチャートと同じ情報を示すものですが、始値と終値の差が方形で表示されます。影またはヒゲと呼ばれる部分はその取引期間の高値と安値を意味します。方形部分の色はその取引日の終値が始値よりも高かったか低かったかを示しています。高い時は緑、低い時は赤になります。

平均足

平均足チャートは標準的なローソク足チャートと似ていますが、4本値を平均化したもので、トレンドを探るのに適しているといわれます。

スクーター

数値は点で表示されます。

ステップ

ステップチャートは、データの増減を1本の線の屈折で表したもので、ある期間の値の変化を強調する場合に用いられます。その形状が階段状に見えることから「階段グラフ」と呼ばれることもあります。

ヒストグラム

チャート上の各ポイントの値が曲線で表示され、ピーク線より下のエリアが色付けされて「山脈」のように見えます。

非表示

チャートが非表示になります。チャートを非表示にしたいけれど、削除したくない場合に便利です。

ポイント& フィギュア

×で価格の騰落を表します。×印は価格上昇を、印は価格下落を示しています。

連行足

不規則時系列チャート。カギ足と新値足をあわせたようなもので、転換ルールの決め方とトレンド転換の判定法はカギ足と同じで、トレンドの方向が変わらなくても、条件さえ満たせば次々に足を描き足していくという点は新値足に似ています。

カギ足

カギ足は「値幅足」ともいわれ、値幅の騰落を一本の線の屈折で表したものです。

新値三本

日本でもっとも使用頻度が高い不規則時系列チャート。上昇局面であれば新高値、下降局面であれば新安値を意味します。これを3本逆行したらトレンドの転換となり、トレンドの判断に役立ちます。

7.スタディ

スタディ(赤枠)では、トレンド系のテクニカル分析指標をチャート上に表示させることができます。



7.1.スタディの表示/追加

<スタディの表示>

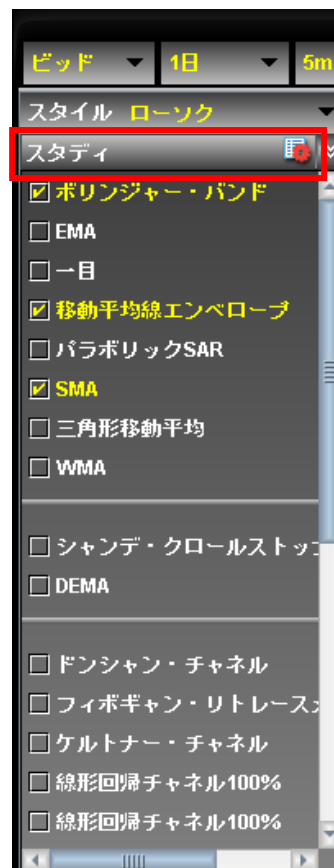
[スタディ]をクリックすると、右のようにテクニカル分析指標一覧が表示されます。

表示させたい指標をクリックすると、チャート上に表示されます。

指標は、チャート上に複数表示させることができます。

チャート上に表示されている指標は黄色でチェックが入ります。

クリックしてチェックを外すと、チャート上から指標が削除されます。



<スタディの追加>

同じ種類のテクニカル分析指標をチャート上に追加表示させることもできます。

例: ボリンジャー・バンドをもう一つ追加表示させる場合。

同じ指標をチャート上に複数表示させたい場合は、[追加アイコン]をクリックします。



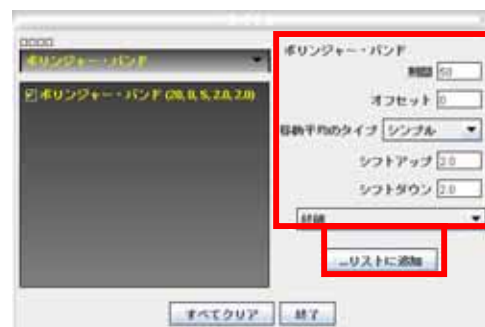
右のような画面が表示されます。

[スタディを選択]をクリックすると、指標一覧が表示されますので、追加したい指標をクリックします。
この例では、ボリンジャー・バンドを選択します。



期間などの詳細設定を行ってください。

[リストに追加]ボタンを押します。



[終了]ボタンを押すと、 で設定した指標がチャート上に表示されます。

[全てクリア]ボタンを押すと、チャート上に表示されている全ての指標が削除されます。

チェックを外すと、チャート上から指標が削除されます。
また、指標を選んで[編集](青枠)をクリックすると、詳細設定を変更することができます。



7.2.スタディの編集/削除

表示させた分析指標の編集/削除は、画面上部に表示されている指標名(赤枠)から行います。
編集を行う場合は指標名を、指標を削除する場合は[×]ボタン(青枠)をクリックしてください。



<スタディの編集方法>

分析指標の編集をする場合は、画面上部に表示されている指標名をクリックします。

右のような画面が表示されますので、期間など詳細設定を変更することができます。

編集が完了したら、[終了]ボタンを押します。

また、[Standard Indicators](緑枠)では、ラインの色などを編集できます。

[Extra Indicators](緑枠)では、移動平均線などの指標を追加表示することができます。詳細は下記をご覧ください。



< [Extra Indicators]からの指標追加方法 >

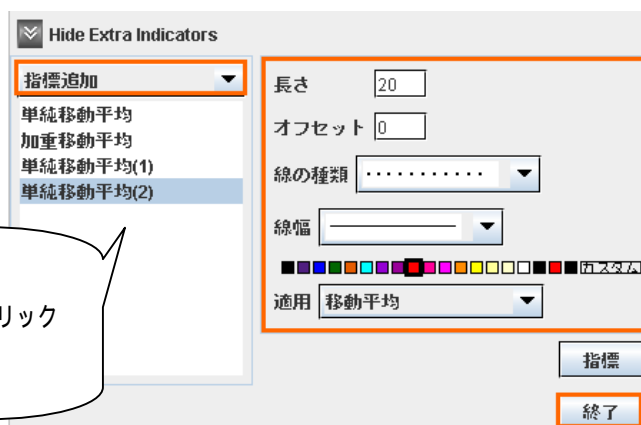
[指標追加]をクリックし、追加したい指標を選択します。

指標の詳細設定を行います。

[終了]ボタンを押します。

追加指標一覧は、こちらのリストに表示されます。

指標を削除したい場合は、削除したい指標をクリックし、[指標]ボタンを押します。



8. オシレーター

[オシレーター]では、オシレーター系のテクニカル分析指標をチャート上に表示させることができます。



8.1. オシレーターの表示/追加

< オシレーターの表示 >

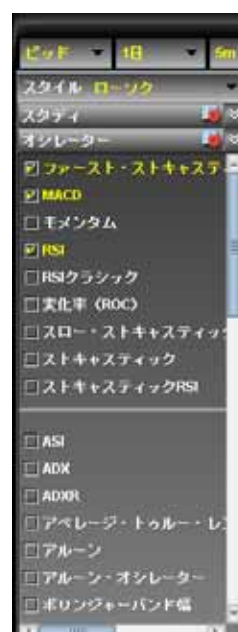
[オシレーター]をクリックすると、右のようにテクニカル分析指標一覧が表示されます。

表示させたい指標をクリックすると、チャート上に表示されます。

指標は、チャート上に複数表示させることができます。

チャート上に表示されている指標は黄色でチェックが入ります。

クリックしてチェックを外すと、チャート上から指標が削除されます。

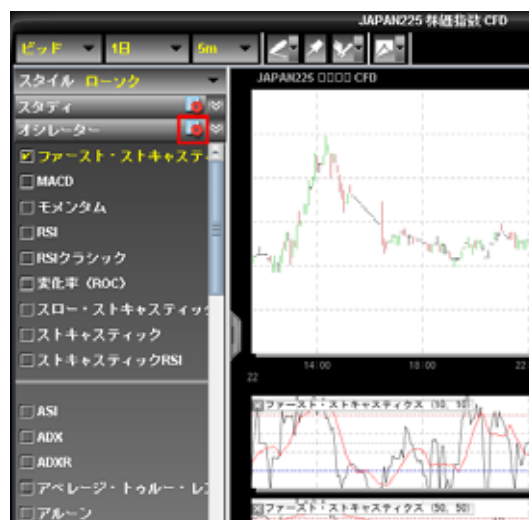


< オシレーターの追加 >

同じ種類のテクニカル分析指標をチャート上に追加表示させることもできます。

[追加アイコン](赤枠)から、追加表示設定を行うことができます。

操作手順はスタディの追加方法と同様です。(P10)

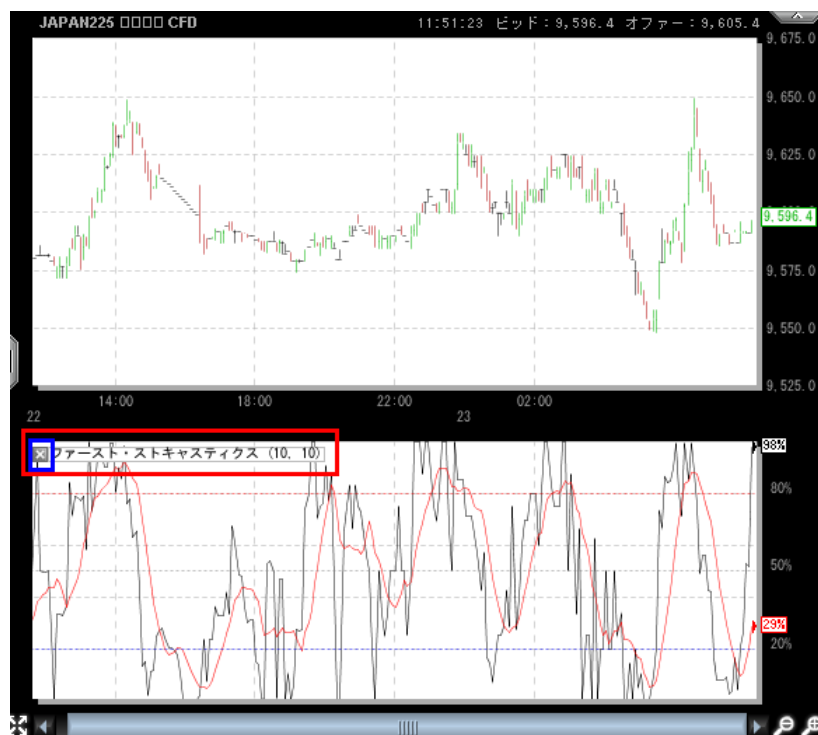


8.2.オシレーターの編集/削除

表示させた分析指標の編集/削除は、画面上部に表示されている指標名(赤枠)から行います。

編集を行う場合は指標名を、指標を削除する場合は[×]ボタン(青枠)をクリックしてください。

指標の編集方法はスタディと同様です。(P11)



9.設定

垂直のグリッド線

チャートに垂直グリッド線を引くことができます。クリックして表示/非表示を設定します。

水平のグリッド線

チャートに水平グリッド線を引くことができます。クリックして表示/非表示を設定します。

破線

グリッド線を破線にすることができます。

色のついたバー

チャートの表示色を、白黒か色つきかで選択できます。

表示の都合上、白黒表示にできない場合もあります。

拡張チャート

最終価格とY軸右側の間に間隔を空けることができます。

最終価格表示

チャート右側に表示される最終価格(現在値)表示の有無を設定できます。

ダイナミックライン

最終価格に合わせ、水平線が引かれます。

ドロージャパン情報ボックス

描画ツールをチャート上に表示させているとき、描画ツール上をポイントすると、その描画ツールの詳細情報が表示されます。

値ボックスの表示

マウスがポイントしている箇所の詳細情報が表示されます。

アクティブポインターの表示

マウスがポイントしている箇所の価格と時間が軸上に表示されます。

スタディやオシレーター適用時には、ポイントされている箇所のそれぞれの情報も表示されます。

軸

下記の設定を用いて、Y軸の数値の変更が可能です。

リニア: 数値を常数スケールで表示します。

パーセント: 数値をパーセント%で表示します。

ログ: 数値を対数スケールで表示します。

カーソル

使用したいカーソルの種類を選択できます。

描画アシスト

描画ツールを表示させる際の設定を行います。

クローズ : 描画ツールを表示させる際、マウスをチャート上にあわせると、該当時間の終値に描画ツールの標準が自動的に設定されます。

ハイ/ロー : 描画ツールを表示させる際、マウスをチャート上にあわせると、該当時間の高値もしくは安値に描画ツールの標準が自動的に設定されます。

なし : 描画アシストを無効にします。

1. <パターン分析機能編> はじめに

パターン分析とはテクニカル分析の1つで、チャートの値動きのパターンから、トレンドを探ったり、注文のタイミングを判断する実践的な分析手法のことです。

代表的なチャートパターンは「ヘッドアンドショルダ(三尊型)」や「トライアングル(三角保ち合い)」で、これらの名前を耳にしたことがあるお客様も多いと思います。

当ガイドでご案内する「パターン分析機能」は、数ある銘柄の中から、リアルタイムでパターンを形成した銘柄を、お客様にいち早くお伝えすることのできる、業界トップレベルのサポート機能です。

当ガイドでは「パターン分析機能」の操作方法に加え、用語説明やパターンの紹介をいたします。

ご注意ください

「パターン分析機能」は、相場を分析する上で便利なツールですが、お取引を推奨することを目的としておりません。「パターン分析機能」は大量のチャートデータを分類し、売買チャンスの絞り込みをサポートするものです。どの銘柄で取引を行うかを決定することは、お客様ご自身の責任と判断で行っていただく必要があります。

免責条項

「パターン分析」は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたツールです。

(以下「パターン分析」を当ツールという)

当ツールは、上記に示したツールとしての利用提供を目的としており、金融商品の投資勧誘を目的としたものではなく、又将来の運用利益を保証するものではありません。

当ツール上に示された分析等は「ひまわり CFD」のカバー先金融機関における過去の取引データに基づくものであり、原市場のデータに基づくものではありません。

当ツールは、ひまわり証券が正確性・確実性を期すよう努めておりますが、完全性を保証するものではありません。

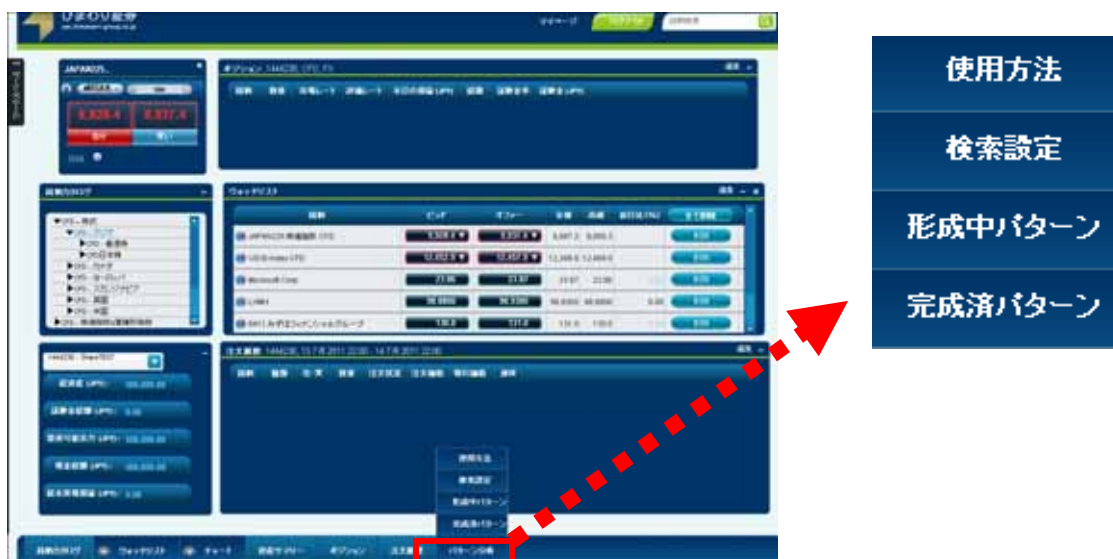
(また、予告なしに情報・内容を変更することがありますので、ご注意ください。)

当ツールの利用によって生じた損害(パソコンやネットワークに生じた損害を含み、損害の種類を問わない)やその修理費用等に関して、ひまわり証券は、一切責任を負いませんのでご了承くださいませようお願い申し上げます。

2.「パターン分析機能」操作方法

2.1.「パターン分析機能」画面の表示

ひまわり CFD WEB にログインし、メイン画面下にあるツールバー上から、[パターン分析]ボタンを押してください。



使用方法:『ひまわり CFD WEB 操作ガイド』、『ひまわり CFD チャートガイド』を閲覧できます。

検索設定:パターンの種類や期間などの条件設定を行い、その設定内容にヒットした銘柄を別画面で表示することができます。

形成中パターン:クリックすると、「検索設定」で検索した「形成中パターンの銘柄画面」を閉じたり、開いたりできます。

完成済パターン:クリックすると、「検索設定」で検索した「完成済パターンの銘柄画面」を閉じたり、開いたりできます。

パターンの「形成中」、「完成済」とは??

「形成中」とは、価格がパターンの範囲内(トレンドラインの中)で値動きしているものを指します。

「完成済」とは、価格がパターンをブレイク(トレンドラインを上抜け/下抜け)したものを指します。

完成済パターンといえども、その後の方向性を保障するものではありません。

パターンのブレイクに関して、ダマシを完全に排除することはできません。

2.2.「検索設定」画面

検索方法

ツールバーより、[パターン分析] > [検索設定]ボタンを押すと、検索設定画面が表示されます。

検索設定画面が表示されたら、下記 ~ の検索条件を設定してください。

「パターン」・・・9つのパターンから、検索したい種類をクリックして選択してください。(複数選択可)

[全て選択]ボタンを押すと9つのパターンが全て選択され、[全て解除]ボタンを押すと、
選択されているパターンを全て外すことができます。

「銘柄」・・・検索銘柄範囲の設定です。「上位株式」、「インデックス」、「全て」から選択してください。

「上位株式」とは取引高の多い、株式 CFD 上位 20 銘柄のことを指します。これはカバー先金融機関
による過去のある時点での集計であり、リアルタイムのデータとは一部相違があります。
また、ひまわり CFD の集計とも異なります。

「全て」を選択いただくと、「指数 CFD 銘柄」と「上位株式 CFD 銘柄」が検索範囲となります。

債券 CFD 銘柄は検索範囲に含まれませんので、ご了承ください。

ご自身でストリーミングチャートを開いて、パターンを表示させることも可能です。(P23)

「足の期間」・・・チャートの足の期間を選択してください。(複数選択したい場合 P19)

「パターンの種類」・・・形成中パターン、完成済パターンを選択してください。

①

②

③

④

⑤

の「パターン」選択の際、各パターンにカーソルを合わせると、こちらにパターンの説明が表示されます。

パターン分析：検索設定

パターン

全て解除 全て選択

カーソルをパターンの上には

銘柄

- 上位株式
- インデックス
- 全て

足の期間

- 15分
- 1時間
- 4時間
- 1日

パターンの種類

- 形成中
- 完成済

条件にあったものを取得

管理

使用方法：ひまわり CFD WEB 操作ガイド | ひまわり CFD チャートガイド

ディスクリーマー：●「パターン分析」は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたツールです。(以下「パターン分析」を当ツールという)●当ツールは、上記に示したツールとしての利用提供を目的としており、金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。●又将来の運用利益を保障するものではありません。●当ツールに示された分析等は「ひまわり CFD」のカバー先金融機関における過去の取引データに基づくものであり、原市場のデータに基づくものではありません。●当ツールは、ひまわり証券が正確性・確実性を期すよう努めておりますが、完全性を保証するものではありません。また、予告なしに情報・内容を変更することがありますので、ご注意ください。●当ツールの利用によって生じた損害のリスクやネットワークに生じた損害を含み、損害の種類を問わないりや、その修理費用等に関して、ひまわり証券は、一切責任を負いませんのでご了承ください。必ずお断り申し上げます。

条件設定が完了したら、[条件にあったものを取得]ボタン(赤枠)を押してください。

条件に合致する銘柄が別画面で表示されます。

の「パターンの種類」で両方にチェックを入れた場合は、形成中パターンと完成済パターンの画面
がそれぞれ表示されます。

パターン結果は常に変動します。条件に合致した銘柄がない場合は「表示可能なパターン分析はありません」と表示されます。条件を変えて再度検索してください。

検索条件の管理

[管理]ボタンを押すと、検索設定管理画面が表示されます。今まで設定した検索条件はここに蓄積され、削除しない限り次回以降の検索条件に含まれます。全く別の検索条件を設定する場合や、興味なくなった検索条件は、検索設定管理画面から削除する必要があります。



[管理]ボタンを押すと、下記のような検索設定管理画面が表示されます。

パターン分析：検索設定を管理する				
パターン	銘柄グループ	足の期間	パターンの選択	操作
トライアングル	インデックス	15分	形成中	<input type="button" value="全て削除"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="削除"/>
トライアングル	インデックス	4時間	形成中	<input type="button" value="削除"/>

パターン：検索条件で設定したパターンの種類

銘柄グループ：検索条件で設定した銘柄

足の期間：検索条件で設定した足の期間

パターンの選択：検索条件で設定した「形成中」、「完成済」の別

< 検索条件の削除方法 >

[全て削除]ボタンを押すと、表示されている全ての検索条件が削除されます。検索条件を個別で削除したい場合は[削除]ボタンを使用してください。

パターンかんたん検索

検索条件は検索設定管理画面に自動的に保存され、ログアウト後も有効です。検索条件に変更がない場合、次回以降の検索はツールバー上の[形成中パターン]、[完成済パターン]ボタンを押すだけで「形成中パターン画面」や「完成済パターン画面」を表示させることができます。

検索設定例

【設定例 1: 全ての銘柄と足の期間を対象に、トライアングルを形成中の銘柄を検索したいとき】

パターンは[トライアングル]、銘柄は[全て]、足の期間は[15分]、パターンの種類は[形成中]を選択し、[条件にあったものを取得]ボタンを押してください。

表示された「形成中パターン画面」は、一旦閉じてください。 右上の[-]ボタンで画面を閉じます。

足の期間は[1 時間]を選択し、他の検索条件は上記と同様に設定して、[条件にあったものを取得]ボタンを押してください。表示された「形成中パターン画面」は一旦閉じてください。

足の期間は[4 時間]を選択し、他の検索条件は上記と同様に設定して、[条件にあったものを取得]ボタンを押してください。表示された「形成中パターン画面」は一旦閉じてください。

足の期間は[1 日]を選択し、他の検索条件は上記と同様に設定して、[条件にあったものを取得]ボタンを押してください。



[-]を押すと画面が閉じます。

左記は の条件設定です。
 ~ は足の期間(青枠)のみ条件を変更して、[条件にあったものを取得]ボタンを押してください。

表示された「形成中パターン画面」には、全ての銘柄と足の期間を対象に検索した、トライアングルを形成中の銘柄が表示されます。 ~ の設定は検索設定管理画面で確認できます。

【設定例 2: 別の日に、「設定例 1」と同じ検索条件で検索を行う場合】
 設定例 1 で設定した検索条件は保存されていますので、ツールバーの [パターン分析] > [形成中パターン] ボタンを押すと表示されます。
 パターンはリアルタイムで変動しているため、検索を行った時点で該当パターンを形成している銘柄がない場合は表示されません。



【設定例 3: 「設定例 1」とは全く別の検索条件で検索したいとき】

検索設定管理画面の[全て削除]ボタンを押し、設定されている全ての検索条件を削除してください。
 検索設定画面で新たに検索条件を設定して、[条件にあったものを取得]ボタンを押してください。

検索条件を削除したら [-] ボタンより検索設定管理画面を閉じ、新たに検索設定画面から検索を行ってください。

銘柄グループ	足の期間	パターンの種類	操作
インデックス	15分	形成中	削除
上位株式	15分	形成中	削除

2.3.「形成中パターン画面」と「完成済パターン画面」

検索設定画面で条件を設定し、検索した銘柄一覧は、別パネルの「形成中パターン画面」と「完成済パターン画面」に表示されます。

画面は右上の[-]ボタン(赤枠)で閉じることができます。

画面はツールバーの[形成中パターン]、[完成済パターン]ボタンからも閉じたり開いたりできます。

< 形成中パターン画面 >

条件設定の際、パターンの種類を[形成中]と選択すると「形成中パターン画面」が表示されます。

パターン分析：形成中パターン 編集 [-]						
銘柄	足の期間	トレンド	パターン	足の本数	5つ星評価(売買サイン)	アラート日
SWEDEN30	15分	↓	ウェッジ	69	★	14 7月 2011 00:17:18 UTC+0900
ITALIAN40	15分	↑	トライアングル	38	★★	14 7月 2011 00:33:28 UTC+0900
ITALIAN40	15分	↑	ウェッジ	80	★★	14 7月 2011 00:33:28 UTC+0900
US30	15分	↓	ウェッジ	18	★★★★★	14 7月 2011 11:30:04 UTC+0900

< 完成済パターン画面 >

条件設定の際、パターンの種類を[完成済]と選択すると「完成済パターン画面」が表示されます。

パターン分析：完成済パターン 編集 [-]						
銘柄	足の期間	トレンド	パターン	足の本数	5つ星評価(売買サイン)	アラート日
ITALIAN40	15分	↑	チャンネル	23	★★★★★	14 7月 2011 00:01:20 UTC+0900
GERMAN30	15分	↓	ウェッジ	18	★★	14 7月 2011 04:15:00 UTC+0900
JAPAN225	1日	↓	チャンネル	20	★	12 7月 2011 09:00:05 UTC+0900

銘柄：各パターンの条件を満たした銘柄名が表示されます。

足の期間：チャートの足の期間が表示されます。

トレンド：銘柄ごとに、大まかなトレンドの方向性を示しています。

パターン：パターンの種類が表示されます。

足の本数：パターンを形成している足の本数です。

5つ星評価(売買サイン)：シグナルの「強度」を表しており、星の数が多いほどシグナルの強度が高いことを示していますが、必ずしもシグナルの強度を保障するものではありません。

アラート日：パターンを更新した最新の日付が表示されます。

[編集]ボタンを押して、足の期間をチェックすると、足の期間ごとに表示の有無を設定できます。

また、「パターン」、「5つ星評価」といった項目をクリックすると、項目別に並び替えることができます。

2.4.パターンの表示

「形成中パターン画面」と「完成済パターン画面」に表示された銘柄のパターンを、チャート上で確認することができます。

閲覧したい銘柄名をクリックし、表示されたメニューから[パターンを表示する]を選択してください。

選択したパターンが表示されたストリーミングチャートが起動します。

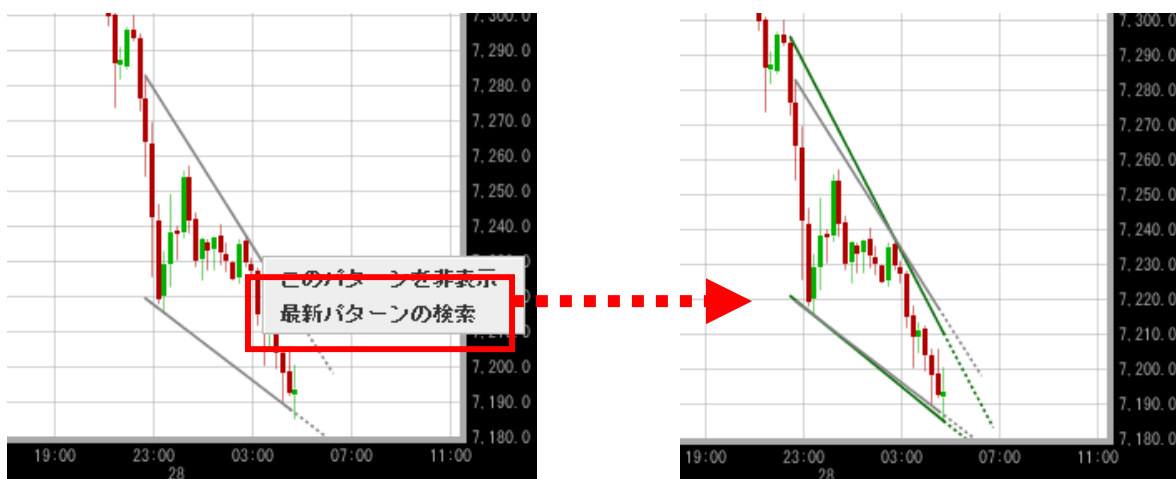
ここから更に他のパターンを表示させたり、分析を行うことができます。(P23)



<最新パターンの表示>

価格の変動に伴い、パターンも変化していきます。

最新のパターンを見たい場合は、パターン上で右クリックして表示されるメニューから [最新パターンの検索]を選択すると、最新パターンを追加表示することができます。



表示させた最新パターンをチャート上から削除する場合は、チャート画面上部に表示されるパターン名左側の[×]ボタンをクリックしてください。

2.5. プライス・プロジェクション・エリア

「完成済パターン画面」からパターンをチャート上に表示させた場合は、パターンに加え、チャート上に四角い網掛け (赤枠)が表示されます。

これはプライス・プロジェクション・エリアと呼ばれ、過去、似たようなパターンを形成したときに、その後どのような値動きをしていたかを参考エリアとして示したものです。

プライス・プロジェクション・エリアは過去の相場データに基づいたもので、将来の値動きを保障するものではありません。投資判断はお客様ご自身で行ってください。

「形成中パターン画面」からパターンをチャート上に表示させた場合は、プライス・プロジェクション・エリアは表示されません。



2.6. アラートタグ

「形成中パターン画面」に表示されている銘柄に、アラートタグを付けることができます。

アラートタグを付けると、該当銘柄のパターンが「形成中」から「完成済」となった場合、自動的に「完成済パターン画面」に移動します。

パターン分析：形成中パターン

銘柄	足の期間	トレンド	パターン
JAPAN225	15分	▲	トライアングル
JAPAN			
GERM			
GERM			
NDAQ			アンダ

注文チケット
追加 'ウォッチリスト'
アラートにタグをつける
パターンを表示する

<アラートタグの付け方>

「形成中パターン画面」の中から、アラートタグを付けたい銘柄名をクリックします。

表示されたメニューから、[アラートにタグをつける]を選択します。

アラートタグを付けた銘柄は、色付で表示されます。

アラートタグを外す場合は、銘柄名をクリックし、表示されたメニューから「アラートのタグを外す」を選択してください。

検索設定画面の[管理]にて検索条件を削除した場合は、アラートタグの設定も削除されますのでご注意ください。

3.「ローソク足パターン」と「チャートパターン」の表示

ストリーミングチャート上にある「ローソク足パターン」、「チャートパターン」機能を使うと、ストリーミングチャート上にローソク足パターンやチャートパターンを表示させることができます。

3.1.パターンの表示方法

スタディやオシレーターから分析指標を表示させる方法と同様の手順で、様々なパターンをお好きなチャート上に表示させることができます。



ローソク足パターンを表示させたい場合は[ローソク足パターン]を、チャートパターンを表示させたい場合は[チャートパターン]をクリックしてください。

パターン一覧が表示されます。表示させたいパターンにチェックを入れると、チャート上に表示されます。パターンは、チャート上に複数表示させることができます。

チャート上に表示されている指標は黄色でチェックが入ります。

クリックしてチェックを外すと、チャート上から指標が削除されます。

パターンが形成されていない場合は、チャート上に表示されません。

債券 CFD のパターン表示について

債券 CFD 銘柄は、検索設定画面(P17)から検索を行うことができません。

債券 CFD 銘柄のパターンを確認される場合は、お客様ご自身でストリーミングチャートを開いていただき、上記方法にてパターンを表示させてください。

3.2.パターンの編集/削除方法

表示させたパターンの編集/削除は、画面上部に表示されているパターン名(赤枠)から行います。編集を行う場合はパターン名を、パターンを削除する場合は[×]ボタン(青枠)をクリックしてください。

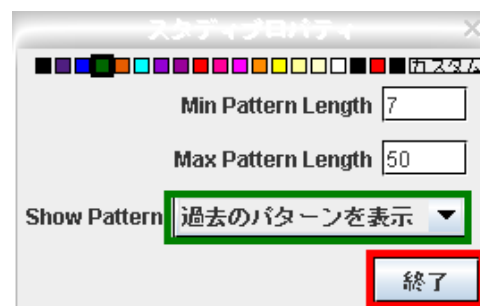


<パターンの編集方法>

パターンの編集をする場合は、画面上部に表示されているパターン名をクリックします。

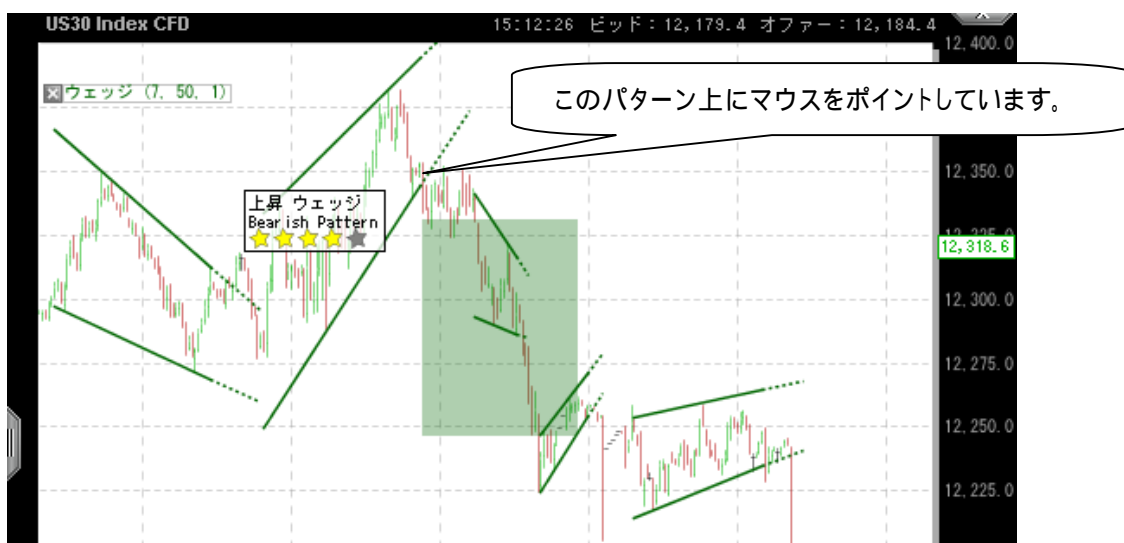
右のような画面が表示され、パターンの色や幅を編集することができます。

[Show Pattern](緑枠)では過去のパターン表示の有無を選択できます。最新のパターンのみを表示させたい場合は、[Check Recent Bars Only]を選択してください。編集が完了したら[終了]ボタンを押します。



3.3.詳細情報の表示

表示させたパターン上にマウスのポイントをあわせると、下記のようにパターンの詳細情報やプライス・プロジェクション・エリアが表示されます。



4.パターン分析について

4.1.用語

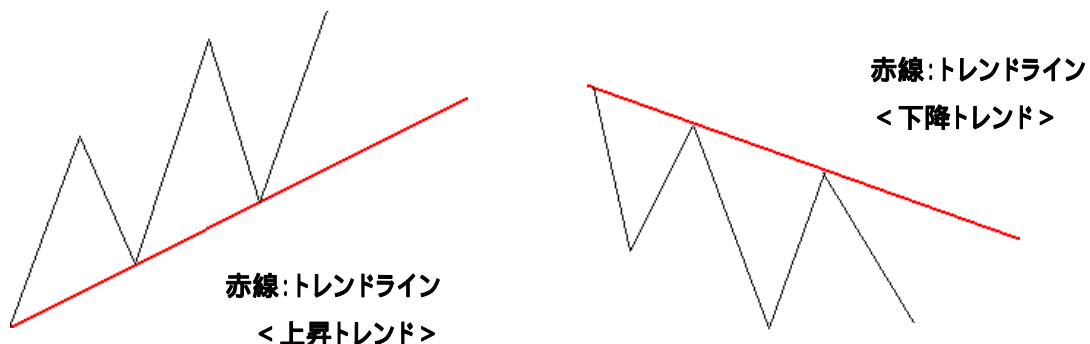
パターン分析を行う上で、よく使用される用語について説明いたします。

トレンド

相場の大まかな方向性のことで、価格上昇の力が強い相場を**上昇トレンド**、価格下落の力が強い相場を**下降トレンド**といいます。

また、価格が一定の幅で推移し、横ばいの状況である相場をレンジ相場といいます。

トレンドを読み取るためにチャート上に書き込む補助線のことを**トレンドライン**といいます。上昇トレンドの場合は安値と安値を結んだ補助線を、下降トレンドの場合は高値と高値を結んだ補助線を引きます。

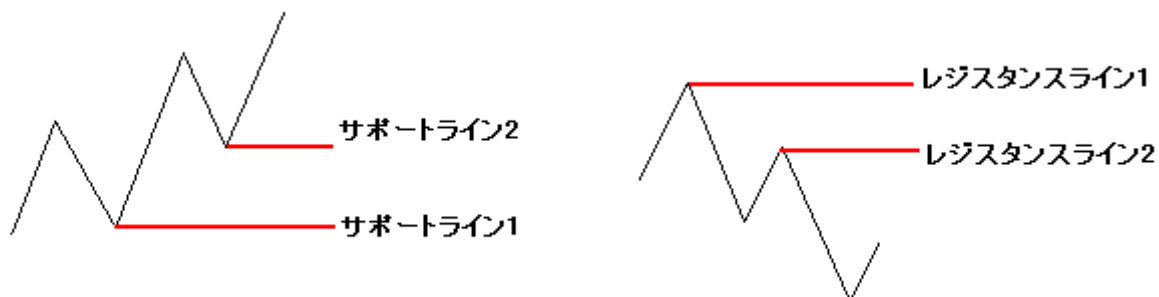


サポート(支持線)

サポートとは、価格が下落している時に、下落が抑えられやすいとされるポイントのことで、前回の安値が該当します。安値と安値を点を結んだ、斜めの**サポートライン**もよく利用されます。

レジスタンス(抵抗線)

レジスタンスとは、価格が上昇している時に、上昇が抑えられやすいとされるポイントのことで、前回の高値が該当します。高値と高値を結んだ、斜めの**レジスタンスライン**もよく利用されます。



チャートパターン

対象銘柄の価格の値動きの過程で見られる一定の形状のことで、投資の判断材料として幅広く利用されています。当ツールでは 9 種類のチャートパターンから、形成銘柄を検索することができます。個々のパターンについては下記をご覧ください。

上抜け/下抜け

形成していたチャートパターンから、抵抗線(支持線)を上回る(下回る)状態のことで、今後の価格の値動きを判断する材料の一つとして使われます。

ダマシ

価格が形成していたパターンを一旦離れた後、再びそのパターンの範囲内に価格が戻ってくることをいいます。当ツールでは、ダマシによる価格の上抜け/下抜けを完全に排除することはできません。ダマシの対処方法の一つとして、価格がパターンを離れた際、パターンの外に終値が形成されるまで判断を待つ、という方法があります。

例: 日足チャートなら、2 日間パターンの外に終値が形成されたのを確認してからトレンド判断を行う。

4.2.チャートパターン

パターン分析は、マーケットでのトレンドラインの突破点ならびにモメンタム(相場の強弱)を探る上で非常に有効的な手段として、投資家に古くから使用されてきました。ここでは、一般的に投資家がどのようにチャートパターンを使用して分析を行っているのかを説明します。

当ツールのパターン分析機能は、便利な機能ではありますが、お客様の投資判断材料の1つであり、万能ではありません。最終的にはお客様ご自身で投資判断をしていただく必要があります。

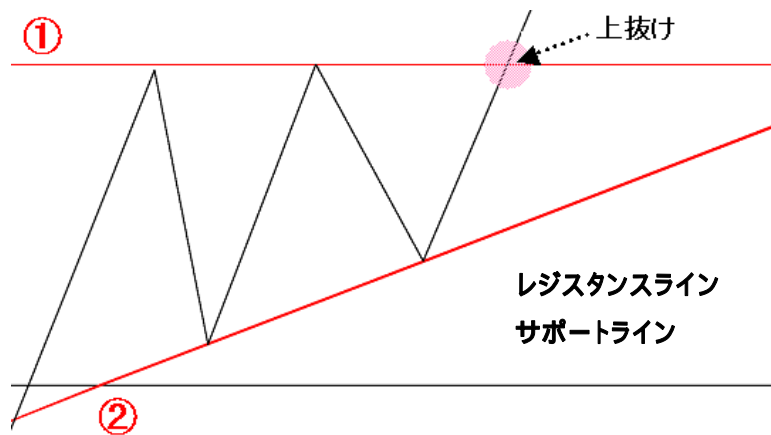
トライアングル

トライアングルは価格が調整局面に入るときのパターンで、上昇トライアングル、下降トライアングル、対称トライアングルの3つに分類されます。価格がパターンを形成しながらもみ合っていく、上抜け/下抜けした際に、トレンド継続となる可能性が高いパターンです。

上昇トライアングル

上昇トライアングルは、レジスタンスライン(赤線)とサポートライン(赤線)から形成されます。安値がだんだん高くなっていても、高値がレジスタンスラインを超えていかない状態で、上昇トレンドの一時的な価格のもみ合いと考えられます。

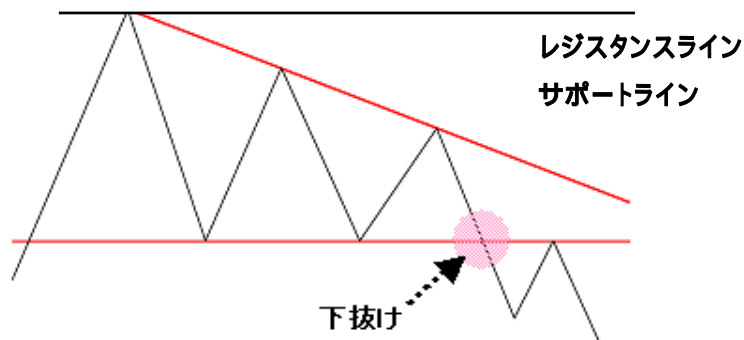
この場合、レジスタンスラインを上抜けすると、上昇トレンドが継続となる可能性が高いと判断されます。また、サポートラインを下抜けした場合は、逆に価格が下落する可能性が高いと判断されます。



下降トライアングル

下降トライアングルは、レジスタンスライン(赤線)とサポートライン(赤線)から形成されます。高値がだんだん下がってきても、安値がサポートラインに支えられている状態で、下降トレンドの一時的な価格のもみ合いと考えられます。

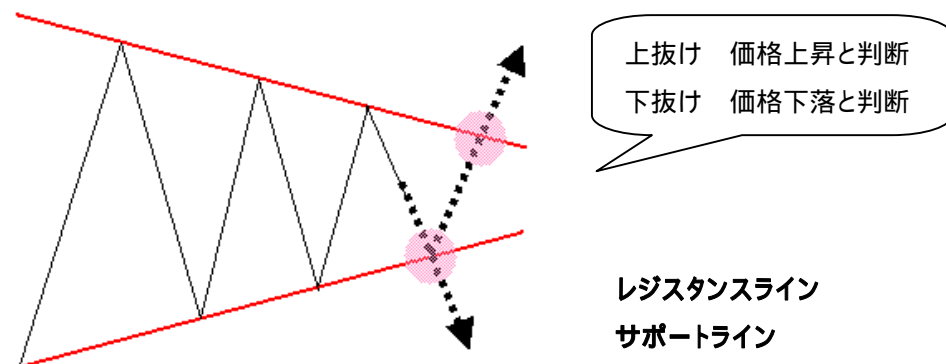
この場合、サポートラインを下抜けすると、下降トレンドが継続となる可能性が高いと判断されます。また、下降トレンドラインを上抜けした場合は、逆に価格が上昇する可能性が高いと判断されます。



対称トライアングル

対象トライアングルは、徐々に上値が下がっているレジスタンスライン(赤線)と、徐々に下値が上がっているサポートライン(赤線)から形成されます。

パターンの形成が進む程値幅が狭くなっていき、上抜け/下抜けした方向に価格が大きく動く判断されます。

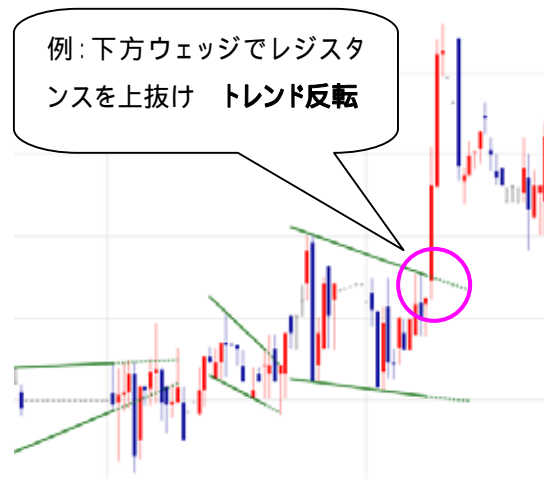
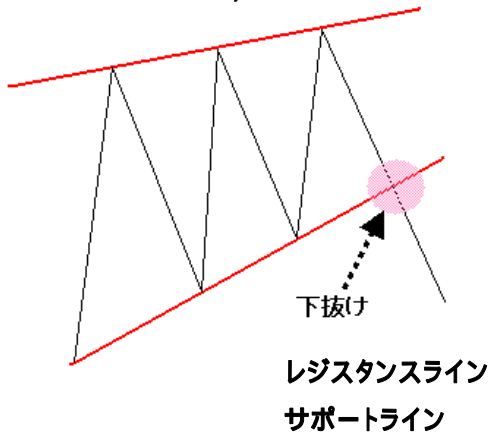


ウェッジ

ウェッジは、同じ方向へ価格が推移しているレジスタンスライン(赤線)とサポートライン(赤線)により形成されます。両ラインの推移と逆の方向へ上抜け/下抜けした場合、トレンドが反転する可能性が高いと判断されます。

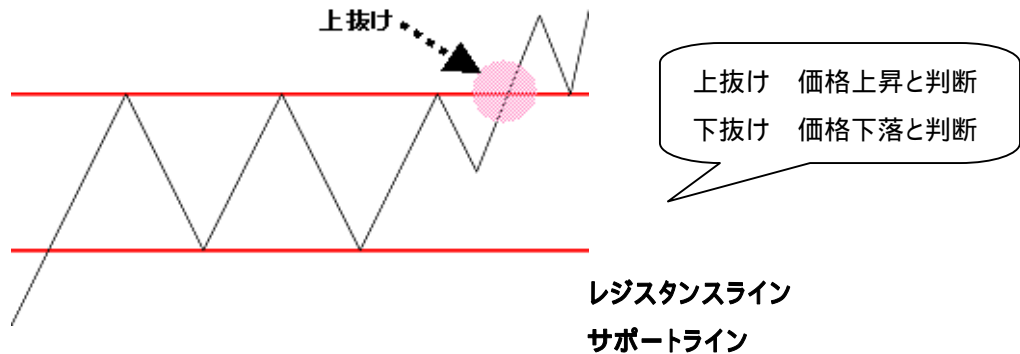
トライアングルと同様に値幅が狭くなっていきますが、レジスタンスラインとサポートラインが同じ方向へ推移しているという点で異なります。

(下記は上方ウェッジ)



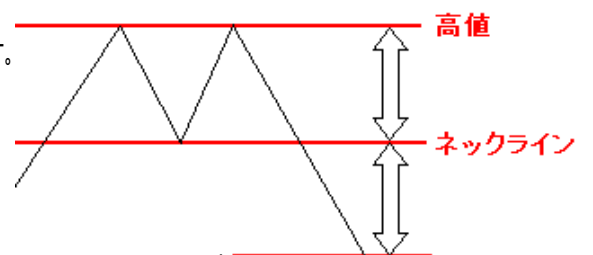
チャンネル

チャンネルは、平行なレジスタンスライン(赤線)とサポートライン(赤線)から形成されます。ラインを上抜け/下抜けした方向へ価格が大きく動く可能性が高いと判断されます。



ダブルトップ

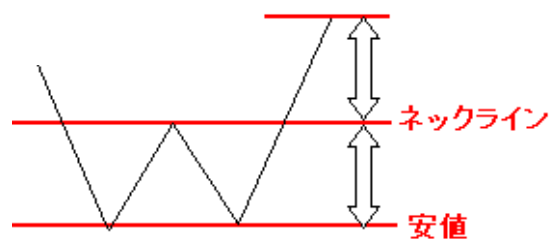
上昇中の価格が一旦下落し、再度、先ほどの高値水準まで上昇しますが、高値を更新できずに下落しているパターンです。下落して谷底のようになった価格は**ネックライン**と呼ばれ、ネックラインと高値の値幅と同じ値幅分、価格が下落する可能性が高いと判断されます。



ここまで価格が下落すると判断されます。

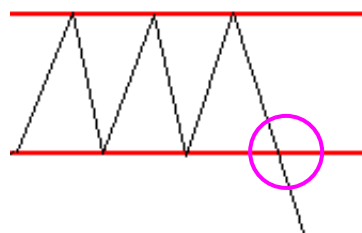
ダブルボトム

下落中の価格が一旦上昇し、再度、先ほどの安値水準まで下落しますが、安値を割らずに上昇しているパターンです。上昇して山頂のようになった価格は**ネックライン**と呼ばれ、ネックラインと安値の値幅と同じ値幅分、価格が上昇する可能性が高いと判断されます。



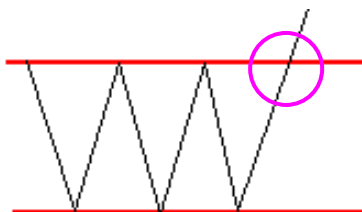
トリプルトップ

トリプルトップは、高値を3回つけているパターンです。3回目の反落でサポートラインを突破し下抜ける可能性が高いと判断されます。



トリプルボトム

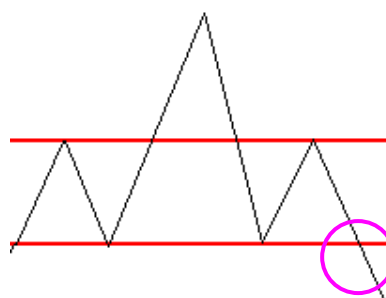
トリプルボトムは、安値を3回つけているパターンです。3回目の反発でレジスタンスを突破し上抜ける可能性が高いと判断されます。



ヘッドアンドショルダ・トップ

ヘッドアンドショルダ・トップは、高値を3回形成しており、3つの高値のうち2番目の高値がピークとなっているパターンです。

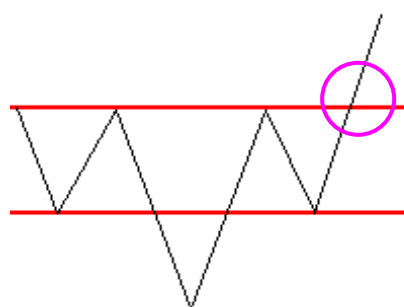
このパターンが見られた場合、上昇トレンドから下降トレンドへ転換する可能性が高いと判断されます。



ヘッドアンドショルダ・ボトム

ヘッドアンドショルダ・ボトムは、安値を3回形成しており、3つの安値のうち2番目の安値がピークとなっているパターンです。

このパターンが見られた場合、下降トレンドから上昇トレンドへ転換する可能性が高いと判断されます。



(20110912)